

「加工食品輸出クラスター組成のための意見交換会（青森県）」議事概要

日 時：令和5年12月7日（木）13:30～16:20

場 所：青森県観光物産館（アスパム）6階「八甲田」

出席者：

【加工食品製造事業者】

（株）味の加久の屋、カネショウ（株）、新郷村ふるさと活性化公社、
はちのへワイナリー（株）、（株）ラグノオささき

【地域商社】

（株）ロコラボ

【支援機関等】

青森県中小企業団体中央会、青森県輸出促進協議会、（独）日本貿易振興機構（JETRO）、
（独）中小企業基盤整備機構、（株）日本政策金融公庫、（株）青森銀行、
（株）みちのく銀行、アクセンチュア（株）

【行政】

青森県、農林水産省、東北農政局、東北農政局青森県拠点

【加工食品輸出クラスター組成に係る主な意見】

- ・ クラスターに参画したとしても、他人任せにすることなく、自社の商品は自ら売り込んでいくといった積極的な姿勢が必要となるのではないかな。
- ・ クラスターに「協力する」という消極的な意識ではなく、「一緒に取り組む」という意識や姿勢が大事になるのではないかな。
- ・ 地域全体として輸出に取り組むために、複数のクラスターが連携して輸出への取組を行うことも手段の一つになるのではないかな。
- ・ 自社の利益だけを追求するのであれば単独で輸出に取り組む方が良く、クラスターを組成するのであれば、自社のメリットを追求しつつも参画事業者全体の成長やメリットを追求していくべきではないかな。
- ・ クラスターに参画する事業者間で、課題解決に向けた情報交換やバイヤーの共有といった様々な情報共有もできるようになるのではないかな。
- ・ クラスターを組成して行政や支援機関のバックアップも受けながら輸出を進めることで、民間だけでは出来ないような取組もできるようになるのではないかな。
- ・ 輸出に際して同じ悩みを抱えている同業種で、県域を越えたクラスターを組成しても良いのではないかな。